



## 報告書

### 「観光産業の魅力の向上に向けた取組内容及びその方法に関する調査」結果について

北陸経済連合会では、「観光産業の魅力の向上に向けた取組内容及びその方法に関する調査」を実施しました。

新型コロナウイルスの影響で観光産業にとっては大きな打撃となり、現在も厳しい状況が続いております。しかし、ウィズコロナ・アフターコロナ時代においても、観光は中長期的な目線での地域発展の切り札となる有力な産業と考えております。今後も持続可能な産業であり続けるためには、魅力の向上が必要であり、本報告では、その取組内容を7つの提言として取りまとめました。（詳細は別紙「報告書の概要」）

今後、本報告の提言の実現に向けて、求められる取り組みを実施してまいります。

#### <7つの提言>

- ①観光事業者の生産性向上への取り組み
- ②高付加価値サービス・新たなサービスの創造
- ③観光産業を担う人材の育成
- ④地域の魅力を発信できるクリエイティブ人材の呼び込み
- ⑤全事業者が地域の魅力を底上げすることへの自覚
- ⑥地域全体での観光を核とした連携ネットワークの強化・構築
- ⑦行政も含めた地域のブランド力の向上

※報告書は、北陸経済連合会ホームページでご覧いただけます。

<http://www.hokkeiren.gr.jp/>

（問合せ先；北陸経済連合会 狩野（かのう）・高田 TEL：076-232-0472）

## 別紙

### 報告書

#### 「2020年度 観光産業の魅力の向上に向けた取組内容及びその方法に関する調査」 (概要)

#### <調査概要>

##### (1) 仮説と目的

観光産業の視点からみると、アフターコロナを見据え地域の観光産業を持続的に発展させるためには、生産性向上を通じて付加価値を高めるとともに、観光客はもとよりそこで働く人々（働きたいと思っている人々）にとって、より魅力的な業界として変化していく必要がある。

他方で、地域全体の視点からは、観光資源としての地域の魅力を向上させるために、産学官民あげて連携して地域に誇りを持ち、シビックプライドを醸成していく必要がある。

ここでは以上2つの視点から「地域に必要な取り組み」を調査、整理し、提言として取りまとめることを目的とする。

##### (2) 調査内容

###### ① 観光産業を魅力的な産業にするための各種事例の収集

生産性向上、高付加価値化、労働環境改善、人材育成等の切り口で各種事例を網

羅的に収集するとともに、内外の先進的かつ創造的な取り組み事例を整理する。

###### ② 業界関係者、学界研究者へのヒアリング

上記で収集した各種事例を整理分析しつつ、業界関係者や研究者等へのヒアリングを行い、得られた知見をふまえて結果を補完・収斂する。

##### (3) 調査期間

2021年1月～3月

##### (4) 調査実施

一般財団法人北陸経済研究所

## 〈調査結果〉

### ◆提言に向けて

○1990年代、観光は「レジャー、ビジネス等の目的で、1年を超えない期間、通常の生活環境から離れた場所を旅行、滞在する人の活動」と定義されていた。

○我が国においては2000年代初めに観光立国政策がスタート。結果、日本を訪れる外国人旅行者は、2019年には3188万人を超え10年間で4.7倍になりました。

○一方で、2020年に突然発生した新型コロナウイルスは世界の観光の形を大きく変え、オンライン観光、地元日帰り旅行をはじめとするマイクロツーリズム、ビジネスシーンでの長期滞在型ワーケーションやお試し移住など、観光ニーズや行動は多様化。

○観光客の受け入れ側も、接客やサービスの非接触に向けた見直しを迫られる一方で、コロナ禍のオーバーツーリズム解消により観光地としてのキャパシティが適正化するなど、良くも悪くも観光産業の構造自体を再構築せざるを得ない局面。

○今一度、観光を「非日常における価値を創出するあらゆる活動」と捉えなおし、北陸における観光産業が多様性を持つことで、「持続可能な産業」であり続けるための魅力向上に向けた提言を取りまとめた。

### ◆7つの提言・提言のポイント・提言に向けた取組

#### ①観光事業者の生産性向上への取り組み

- ・付加価値の創造や働き方改革など次の展開を考え準備し、生産性向上に取り組む
- ・生産性向上の効率性をあげるために、業者間で協力できるところは協力する  
(提言に向けた取り組み)
- ・生産性向上の促進に向けたセミナーや講演会の開催

#### ②高付加価値サービス・新たなサービスの創造

- ・そこでしかできない体験を価値とする観光資源を作り出す
- ・観光資源には歴史や文化などストーリー性を持たせるアプローチを試みる
- ・人が生み出すサービスにこそ「価値」が生まれる  
(提言に向けた取り組み)
- ・高付加価値サービスの創造に向けたセミナーや研修会の開催

#### ③観光産業を担う人材の育成

- ・観光教育の普及を進め、子どものうちから観光の役割を正しく理解させる
- ・産官学連携で、「観光」の視点を持って様々な業界で活躍できる人材を育てる  
(提言に向けた取り組み)
- ・人材獲得や人材育成に関するセミナーや講演会の開催
- ・広く観光関連産業で活躍できる人材育成を目的とした産官学連携への協力

#### ④地域の魅力を発信できるクリエイティブ人材の呼び込み

- ・「地域で活躍する輝く人」にフォーカスした業界のPRを進める
- ・地域との関係を橋渡しするメンターの設置

(提言に向けた取り組み)

- ・人材獲得や人材育成に関するセミナーや講演会の開催
- ・クリエイティブ人材の受入れ環境の整備（メンター設置）など

⑤全事業者が地域の魅力を底上げすることへの自覚

- ・人が集まってくる魅力的な地域を作る
- ・地域における様々な業種の横連携で、観光に新たな価値を生む
- ・魅力的な地域づくりのため、観光産業のみならず、全産業で魅力を発信する

(提言に向けた取り組み)

- ・魅力的な地域づくりについてのセミナーや講演会の開催
- ・地域における業種を超えた横のつながりづくりの促進
- ・移住や企業の誘致などPR

⑥地域全体での観光を核とした連携ネットワークの強化・構築

- ・北陸新幹線敦賀開業を好機と捉え、北陸3県の地域連携DMOの連携をより一層深める
- ・観光ネットワークや観光人材育成ネットワークの構築を図る

(提言に向けた取り組み)

- ・北陸各県の地域連携DMOやJR、3県など関係機関との更なる連携強化
- ・観光ネットワーク、観光人材育成ネットワークの構築の働きかけ
- ・観光系カリキュラムを持つ学校と連携したコンテストの開催

⑦行政も含めた地域のブランド力の向上

- ・観光は地域に貢献する産業であることを周知する
- ・観光客が訪れる地域であることに誇りを持つ
- ・シビックプライドの醸成を図る

(提言に向けた取り組み)

- ・シビックプライドの醸成、普及に向けたセミナーの開催

以 上